



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 オリジン電気株式会社

コード番号 6513 URL <http://www.origin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 妹尾 一宏

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 宮田 寛司

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3983-1192

平成26年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	18,276	33.8	1,605	—	1,804	—	1,076	—
26年3月期第2四半期	13,657	△27.6	△117	—	12	△99.3	△43	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,050百万円 (△20.1%) 26年3月期第2四半期 1,314百万円 (50.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
27年3月期第2四半期	32.29	—
26年3月期第2四半期	△1.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	40,283	22,283	49.7
26年3月期	39,529	20,314	44.9

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 20,016百万円 26年3月期 17,760百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
26年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年3月期	—	3.50	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	34,500	11.3	2,400	179.1	2,600	145.4	1,450	200.1	43.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	33,499,931 株	26年3月期	33,499,931 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	160,579 株	26年3月期	156,487 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	33,341,547 株	26年3月期2Q	33,348,701 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響がみられましたが、基調的には緩やかな回復を続けています。海外経済は新興国の一部になお緩慢さを残しつつも、先進国を中心に回復の傾向が見られました。

このような中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、主としてエレクトロニクス事業とメカトロニクス事業が前年同四半期比で大幅な増収となり、182億7千6百万円（前年同四半期比33.8%増）となりました。

損益面におきましては、営業利益は16億5百万円（前年同四半期は1億1千7百万円の営業損失）、営業外収益に為替差益1億5千2百万円を計上したことにより経常利益は18億4百万円（前年同四半期は1千2百万円の経常利益）となり、特別損失に本社及び本社工場移転等に伴う減損損失2億2千8百万円を計上した結果、四半期純利益は10億7千6百万円（前年同四半期は4千3百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## [エレクトロニクス事業]

エレクトロニクス事業の売上高は前年同四半期比47.9%増の43億3百万円（総売上高の23.5%）となりました。

電源機器は、スマートフォン、タブレット利用によるデータ量増加によりLTE等の携帯端末向け基地局用電源の販売が好調に推移しました。また、液晶ディスプレイ・半導体製造装置向けの高電圧電源についても、顧客企業の設備投資が回復し、徐々に増加しております。

## [メカトロニクス事業]

メカトロニクス事業の売上高は前年同四半期比326.7%増の38億4百万円（総売上高の20.8%）となりました。

MDBと自動車部品用大型溶接機の販売が順調に推移し、また光通信関連市場の活況により光半導体用小型溶接機も伸長したことから、大幅な売上増となりました。

## [ケミトロニクス事業]

ケミトロニクス事業の売上高は前年同四半期比4.8%減の52億7千7百万円（総売上高の28.9%）となりました。

主力の自動車関連分野は堅調に推移しましたが、情報家電関連分野のノートパソコン向け販売が低調に推移しました。

## [コンポーネント事業]

コンポーネント事業の売上高は前年同四半期比13.5%増の48億9千2百万円（総売上高の26.8%）となりました。

半導体デバイスは、医療機器・遊技機向け製品が堅調に推移しましたが、環境関連市場向けパワーデバイスやデジタルカメラ向けディスクリット製品の販売低迷により、売上高は前年同四半期比24.6%減の15億1千5百万円（総売上高の8.3%）となりました。

精密機構部品は、複写機・プリンタ関連とATMなど金融機器関連向け製品が需要増加により好調に推移したことに加え円安効果もあり、売上高は前年同四半期比46.7%増の33億7千6百万円（総売上高の18.5%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、402億8千3百万円となり、前連結会計年度末より7億5千3百万円増加いたしました。これは主に仕掛品が6億9千3百万円減少しましたが、現金及び預金が9億1千3百万円、受取手形及び売掛金が7億1千9百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、180億円となり、前連結会計年度末より12億1千5百万円減少いたしました。これは主に流動負債のその他が3億4千4百万円増加しましたが、退職給付に係る負債が13億4千6百万円、支払手形及び買掛金が3億4百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、222億8千3百万円となり、前連結会計年度末より19億6千8百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が3億9百万円減少しましたが、利益剰余金が22億3千万円増加したことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の連結業績予想につきましては、平成26年10月6日に発表した平成27年3月期の連結業績予想の数値を修正しております。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)  
(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が12億5千5百万円減少し、利益剰余金と同額増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,930	7,844
受取手形及び売掛金	10,490	11,210
商品及び製品	1,347	1,342
仕掛品	4,887	4,193
原材料及び貯蔵品	2,202	2,020
繰延税金資産	263	275
その他	168	156
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	26,275	27,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,863	2,509
機械装置及び運搬具（純額）	936	816
土地	4,298	4,298
その他（純額）	529	558
有形固定資産合計	8,628	8,183
無形固定資産		
のれん	139	109
その他	667	605
無形固定資産合計	806	715
投資その他の資産		
投資有価証券	3,422	3,965
繰延税金資産	70	48
その他	437	437
貸倒引当金	△112	△96
投資その他の資産合計	3,818	4,355
固定資産合計	13,254	13,254
資産合計	39,529	40,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,468	7,164
短期借入金	505	500
1年内返済予定の長期借入金	530	530
未払法人税等	129	244
賞与引当金	511	563
役員賞与引当金	19	—
その他	1,927	2,271
流動負債合計	11,091	11,273
固定負債		
長期借入金	1,837	1,572
繰延税金負債	498	753
退職給付に係る負債	5,678	4,331
その他	109	69
固定負債合計	8,123	6,726
負債合計	19,215	18,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,103	6,103
資本剰余金	3,454	3,454
利益剰余金	6,540	8,771
自己株式	△85	△86
株主資本合計	16,013	18,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	897	1,234
為替換算調整勘定	849	540
その他の包括利益累計額合計	1,747	1,774
少数株主持分	2,554	2,266
純資産合計	20,314	22,283
負債純資産合計	39,529	40,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	13,657	18,276
売上原価	10,777	13,480
売上総利益	2,880	4,796
販売費及び一般管理費	2,997	3,190
営業利益又は営業損失(△)	△117	1,605
営業外収益		
受取利息	33	32
受取配当金	31	35
為替差益	48	152
持分法による投資利益	12	12
その他	83	36
営業外収益合計	209	269
営業外費用		
支払利息	11	18
その他	67	53
営業外費用合計	79	71
経常利益	12	1,804
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	300	—
特別利益合計	300	0
特別損失		
固定資産除却損	0	33
減損損失	—	228
製品補償費	40	—
特別損失合計	40	262
税金等調整前四半期純利益	271	1,541
法人税、住民税及び事業税	193	294
法人税等調整額	7	80
法人税等合計	200	374
少数株主損益調整前四半期純利益	71	1,167
少数株主利益	114	90
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△43	1,076



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	71	1,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	261	333
為替換算調整勘定	980	△452
持分法適用会社に対する持分相当額	1	2
その他の包括利益合計	1,243	△116
四半期包括利益	1,314	1,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	833	1,103
少数株主に係る四半期包括利益	481	△52

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。